

平成30年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日	平成31年 4月 5日
研究・研修課題名	病態栄養認定管理栄養士資格取得のための学会参加
研究・研修組織名 (所属)	島根大学医学部附属病院 (栄養治療室)
研究・研修責任者名 (所属)	矢田里沙子 (栄養治療室)
共同研究・研修実施者名 (所属)	

区分	<input type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input type="checkbox"/> 資格取得、 <input type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得、 <input checked="" type="checkbox"/> その他の成果(資格取得に向けた単位取得)
該当者名(所属)	矢田里沙子 (栄養治療室)
学会名(会期・場所、認定名等)	
演題名・認証交付先等	
取得日・認定期間等	

目的及び方法、成果の内容

① 目的

病態栄養認定管理栄養士とは、医療チームに参画し、患者の栄養指導・栄養管理を的確に行う、有能な専門的知識および技術を有する者に与えられる資格である。現在日々の栄養指導・栄養管理業務において様々な疾患の患者に対応しており、幅広い知識が必要となっている。病態栄養認定管理栄養士を取得することで、各病態に対する最新の技術・知識を習得する。

今回病態栄養認定管理栄養士の受験資格を得るために必要な単位を取得し、資格取得を目指す。

② 方法

認定試験の受験資格は次の各項の条件をすべて満たす必要がある。

- 1) 2年以上本学会会員であること。
- 2) 管理栄養士の資格を有する者。
- 3) 医療機関で3年以上の業務(栄養管理)経験を有すること。
- 4) 以下の条件を満たすこと。
 1. 本学会に関連する活動として10単位以上を取得していること。
(本学会出席5単位、本学会主催の教育セミナー出席5単位)
 2. 栄養管理に関する5症例のレポートを提出すること。
 3. 本学会の主催する教育セミナーを受講修了していること。

条件(1)～(3)は充足しており、今回(4)の単位取得のため、病態栄養学会年次学術集会へ参加。

③ 成果

病態栄養認定管理栄養士の資格取得のための必須研修である、日本病態栄養学会年次学術集会に参加し、資格取得に必要な単位数のうち5単位を取得できた。

教育講演では、肥満糖尿病患者において、夕食時間が20時以降になると、同じ食事を食べていても食事誘導性熱産生が低くなるため、夕方に炭水化物だけを先に食べ、20時以降に副食のみを食べたほうが食後の血糖値が夜間の血糖値が上がらないという話があった。また、20分かけてゆっくり良く噛んで食べると、食事誘導性熱産生が有意に高くなることも分かった。食物繊維の中でも、不溶性よりも水溶性を摂った方が腸内細菌叢の変化により血糖値が低下するなどの話があった。

現在当院での栄養指導件数の中では糖尿病患者が最も多く、今回得た知識を活用して栄養指導を行うことで、患者の血液検査値改善や減量に繋がり、効果的な栄養指導が行えると思われる。

その他、一般演題では周術期管理について、多施設での取り組みを知ることができた。

今回、病態栄養学会年次学術集会に参加することにより、新しい知識を習得することができた。今後も幅広い病態の栄養指導・栄養管理に対応できるよう、専門職としてのスキルの向上を目指したい。